

～ 令和6年能登半島地震による災害派遣 ～

令和6年1月1日16時10分に石川県能登地方で発生した地震により、石川県志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて広域に震度6強～1を観測しました。

このため、国土交通省では被害状況の把握や復旧作業及び日常生活の支援のため、全国からTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)や災害対策用機械等を多数派遣しました。

東北技術事務所では、被災地で活動を行う職員等の休憩や宿泊場所に使用するため、能登空港(石川県輪島市三井町)に待機支援車を派遣しました。



秋田河川国道事務所
東北技術事務所

福島河川国道事務所

派遣期間: 令和6年1月14日～2月8日
派遣機械: 待機支援車(3台)



能登空港には全国から集結した国土交通省の災害対策用機械の他、自衛隊等の緊急車両も多数配備されていた。

東北技術事務所の他、秋田河川国道事務所と福島河川国道事務所の待機支援車(全3台)を能登空港に配備。

※1月23日から待機支援車全3台を東北技術事務所が管理を実施。



全国から集結した災害対策用機械



待機支援車利用状況①



待機支援車利用状況②

■派遣期間における待機支援車宿泊者数: 延べ12人(待機支援車3台分を集計)

